

# ガンバの会について

## NPO ガンバの会が大切にしてきたこと

私たちガンバの会は、1990年代に市川市に住む路上生活者の支援をする組織として誕生しました。私たちの代表・副田一郎は、北九州のとある教会で牧師になった1989年からホームレス支援に携わり、市川市内の教会の牧師就任後もホームレス支援を続け、この市川ガンバの会を起ち上げました。

これまで数多くの「ホームレス」の方々との出会いがありました。



**そんな関わりの中で、彼らが抱えている問題は、家、食料、衣類という物質的（ハウス：House）な貧困よりも、自分が所属する社会や共同体が貧弱であること、すなわち社会性（ホーム：Home）の貧困が本質であると考えています。**

そこで、私たちは物質的・精神的支援に限らず「社会性の回復」を重要視し、路上生活者がアパートへ入居した後も、就労の機会の提供、趣味などの生きがいを見つけるための定期訪問や交流会・サロンなどを行っています。

私たちガンバの会は、これまで路上生活をせざるを得ない「ホームレス」の方々の命と尊厳を守り、自立支援を行うために、1997年11月に結成されましたが、現在の活動は「ホームレス」の自立支援にとどまりません。

社会性（ホーム：Home）の回復を超えて、絆を失い、頼ることができる人を失った方々が、もう一度安心して社会で生活できるように、「ホーム」となる場を創る活動を続けております。今後も、NPO 法人特有のフットワークの軽さを活かして、「ホーム」の回復のみならず、創造する活動を続けていきたいと考えております。

（ガンバの会ホームページより抜粋）

## 事業内容（一部紹介）

### 路上生活支援

おにぎりなどの食料物資、衣類、医薬品を持って夜間パトロールを行っています。一人ひとりの健康状態に気を配り、必要に応じて衣類や薬品の提供もしております。

### 居宅支援

生活困窮者がアパートへ入居出来る様に、シェルター、自立支援住宅や貸付金制度の運営、入居の際の不動産の紹介、什器の買出し、保証人提供や契約手続の支援などを積極的に行っています。

### 生きがい支援

アパートでの生活が「孤独」にならないために、定期訪問を中心に、必要に応じた支援を行っています。交流会や一泊の懇親旅行、サロンの運営を実施し、人との出会い、生きがいづくりに力をいれています。

### 生活困窮者相談

生活困窮者からの相談を広く受け付けております。一人一人の方が抱える問題に合った対応を考え、早期の自立を一緒に目指しております。

### 緊急保護及び入院支援

路上生活者からの健康相談を受け、緊急入院の際は入院中に必要な物品を差し入れています。また一日も早い回復を願って、病室へお見舞いに行きます。

### 就労支援

厚生労働省より「無料職業紹介事業所」の許可を受け、就労紹介も行っています。路上生活者に限らず、生活困窮者や不安定な居住者からの相談に対応しています。

### 夢塾

2011年に**夢塾**を開始いたしました。生活困窮家庭の子供たちに対し学習塾を行っています。教育支援だけではなく、「居場所作り」にも力を注いでいます。